泉北PTAだより
かなえ

発行・編集
大阪府立
泉北高等学校
PTA広報委員会

ご卒業おめでとうございます

校長　桑原　志郎

42期生のみなさんご卒業おめでとうございます。保護者の皆様も、お子様のご卒業おめでとうございました。御苦労さまでした。本校の生徒達は、本当に気持ちのいい、何事にも前向きに取り組み努力を惜しまないよい子供たちばかりで、まっ直ぐにのびのびとここまで育て上げあげられた、親としてのご手腕はとても偉大なものと尊敬に耐えません。もちろん、ここにいたるまでの18年間に様々なご苦労がおありになったかと拝察しますが、大人一歩手間の18歳で高校を送りだせば、とりあえず自分達の次の世代に、世の中を渡す基礎は作れたと考えてもいいのでしょう。

さて、生徒のみなさんがこれから生きていく日本社会は、世界の誰も経験のしたことのない急速な人口減少と高齢化を経験します。その中で、活気のある社会をどう形成していくかという解は、足もとばかりを見ていては見つからないような気がします。広い視野と何事にもとらわれない心をもち、ついつい目先のことに捕われる大人をまねることなく（大人は生活がかかっていますから多少はそうなるものなので、そうでなければ困る部分もあるのですが）これからの10年間、いや5年は、日本社会の行く先をまず考えるビジョンを持ちつつ、自分の生き方を探す努力を続けて下さい。

「日本はなくても世界はある」が、世界なくして日本はないような場面に直面して、どういう道を見つけるのか」だと思います。そして、その基礎は、ここセンポケでの3年間の人との触れ合いの中、経験してきたことの中で築かれてきたのではないかと思います。

幸多かれと祈ってやみません。

Like you 君らしく

卒業記念品紹介

①電子看板・ディスプレイ
②スポットライト500W
③生徒用テント

卒業生の皆様へ

PTA会長　亀丸　康代

42期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

期待や不安、様々な思いを胸に入学された事でしょう。泉北高校では総合科学科と国際文化科があり、普通科の学校にはない様々な経験ができたと思います。

卒業して、これから皆さんはそれぞれの道へ進みますが、どうか今ある夢を夢で終わらせず、実現する為の目標を立て、それに向かって諦めずに努力し続けて欲しいと思います。また、皆さんが社会や誰かの役に立てるような人になってくれる事を願っています。

一人の力は小さくても、互いが他人を思いやる事が出来れば、それは大きな力になります。どうか出会いを大切にし、他の人も自分自身も大切にして下さい。

そしてこれから先、何かの壁にぶつかった時、どうかこの泉北高校で過ごした日々を、そしてその仲間を思い出し、前に進む糧にしていって欲しいと思います。

合唱コンクール

クラスの合唱では、指揮者を見つめる真剣なまなざし、皆で歌う喜びをかみしめる生き生きした表情、歌声に溶け込む伴奏者の背中、皆で奏でる音楽を最高のものにしようと一生懸命に語りかける表情が見えてきそうな指揮者の背中。すべてが舞台で輝いていました。音楽選択者によるバラエティーに富んだ楽曲や、パフォーマンスに合わせて楽しい音楽を届けてくれたコーラス部のみなさんからも元気をもらい、音楽の持つ力を実感できました。本当にありがとう。そして、忙しい中集まって練習を重ね、歌を通じてメッセージを送ってくださったＰＴＡの皆様と口笛奏者の儀間太久実さんにも深く感動した、すばらしい合唱コンクールでした。

第7回　合唱コンクール　クラスエントリー曲

1　年		2　年	
4組	WINDING ROAD	3組	なごり雪
1組	道	6組	風になりたい
6組	WINDING ROAD	7組	桜
7組	TSUNAMI	4組	未来へ
2組	明日への扉	2組	oh,happy day
5組	3月9日	5組	空も飛べるはず
3組	Story	1組	旅立ちの時

PTAコーラス

命の大切さを伝えたくて

奥田　和美

昨年同様今年の合唱コンクールも子どもたちから伝わってくる団結力と瞳の輝きに感動しました。そんな子どもたちにパワーを頂き、私たちも何か伝えられたらという思いで、今年は保護者コーラスとして参加させて頂くことになりました。色々な事が起こる今この時代に命の大切さを伝えたくて、二年前に起きた東日本大震災で被災された人たちの思いを込めて作られた「花は咲く」というという曲を選びました。

当日は、口笛奏者の儀間太久実さんの演奏も加わり、稲田先生の指導の下、楽しく歌うことができました。また、今回保護者参加に関して快諾して下さった校長先生はじめ、学校職員の皆さまのご協力のお陰で楽しいひと時を過ごすことができ感謝しています。本当にありがとうございました。

アートフェスティバル

今年も2・3階の渡り廊下を生徒の美術書道の力のこもった作品が飾りました。

1月21日～2月8日のフェスティバルの期間は、生徒も教職員もたくさんの作品のエネルギーに魅せられ、その世界に浸る姿があちこちでみられました。

PTA文化講座

文化委員長　長谷裕美子

カラーのワイヤーを使い、ウェルカムボードを作成する文化講習会が12月1日(土)にありました。

慣れないペンチやニッパーを持ち、ワイヤーでハートや鳥、クローバーを形にする作業は思っていたより大変でした。中でもwelcomeの字の作業は手がつりそうに。そうして出来上がった作品はどれも素敵で可愛らしく満足な様子でした。

今回、初めてＰＴＡ行事に参加して下さった保護者の方にも交流ができましたと喜んでもらう事ができました。これからも多くの保護者の方に参加してもらえる講座を企画できるように頑張りたいと思います。

PTA委員会報告

文化委員長　長谷裕美子

2012年度、文化委員会活動は、6月の体育祭では精一杯、競技に取り組んでいる生徒に冷たいスポーツドリンクを配布。9月、まだまだ暑い中での文化祭では、涼しい教室で憩いの場としてお菓子と飲み物を提供。そして12月には保護者の方々の交流の場を目的に文化講習会「カラーワイヤークラフト」を開催し、先生方と共に楽しい時間を過ごすことができました。

委員会活動に協力して下さった先生方、生徒の皆さんありがとうございました。

国際親善委員長　大村かおり

始業式の後、マリンちゃん、リコ君の送別会をしました。軽音楽部によるギター弾き語りの素敵な演奏に始まり、わきあいあいとした楽しい会になりました。

マリンちゃんは日本語でのコミュニケーションが取りにくく、サポートでも困ったことがありましたが、送別会ではとても良い笑顔でしたので、私たちも嬉しかったです。

リコ君は日本での生活を存分に楽しみ、さらに日本語能力も高め、とても充実した留学生活を送っていました。一年間サポートを楽しめました。

広報委員長　坂辺　千加

今年も各学期に「かなえ新聞」を発行させていただきました。

始めの頃は、わからない状態でしたが、先生方・委員さんのご協力の元、三年間務めさせていただきました。広報委員を担当させていただいて、学校での色々な行事を知ることができ、とても良い経験をする事ができました。保護者の皆様にも「かなえ新聞」を通じて、学校行事の生徒達の声をお伝えできていれば幸いです。

最後に、新聞作成にあたりご協力いただいた先生方を始め生徒の皆さん、委員の皆様に感謝致します。

旅だち 42期生

『三年間の思い出』

1組　コレット　龍也

師走の候、寒さもひとしお身にしみるころ、友人たちは、皆（自分も含め）受験勉強という孤独な戦いに身を投じています。

そんな時に改めて思い知るのは、人とのつながりの大切さです。短い文章になりますが、3年間の思い出と並べて書きたいと思います。

学校は、勉強するところだ。確かにそうです。でも、勉強なら家で一人でもできます。学校でできるもっと素晴らしいことは、人と関わることです。

生徒会、放送部、軽音部にESSと様々な活動を通して多くの先生、先輩、後輩にお世話になりました。みんなの個性的で、自分とは違う価値観や考え方を持っていて、毎日が刺激的でした。

3年間、机にかじりついて勉強して学んだことは、多くあります。しかし、僕がそれよりもっと有り難く思うのは、たくさんの人に迷惑をかけ、色々な経験をさせていただいたことです。

『三年間の思い出』

2組　島田　直哉

僕は、高校生活の大半をバスケットに費やしました。2年の春、僕は西川先生に部長に選ばれました。泉北のバスケ部は、伝統のあるチームで、それを背負うという責任は、とても大きいものでした。思うような結果が出ず、チームも上手くまとまらなくて、バスケを辞めたいと思うくらい苦しい時期もありました。それでも最後までやり通すことが出来たのは、たくさんの人の支えや応援があったからです。そして、お母さんお父さん、心配ばっかりかけてごめん。長い間、バスケさしてくれてありがとう。

西川先生には、バスケの技術以外にも大切な事をたくさん教わりました。3年間、本当にありがとうございました。このチームでバスケが出来たことは、僕の一生の思い出です。言い切れないぐらいの思い出があるけど最高の高校生活でした。

3-3の思い出

3組　渡辺　大輝

よっしゃー!!

3年3組の教室の名簿を初めて見た時叫んだ。男も女もかなり激しいメンバーがそろってた。初日から委員会や係を決めるだけやのに、意味分からんぐらいもりあがった。なんやかんやでむかえたクラス行事。クラスマッチ、2年に負ける。BBQ、水風船でけんか。体育祭、きゃりーぱみゅぱみゅ。そして文化祭、STAMP。全体鑑賞の目標に向けて必死に練習した。無事に全体鑑賞を取り迎え本番。吐き気するくらい緊張したけど、劇は成功した。出演者を支えてくれた裏方、めっちゃ長い台本を作ってくれたゆうま、しゅーと、練習に付き合ってくれた歌子先生。DJタイムをやりきったピッコロ。全員で作った最高の文化祭やった。高校最後のクラスが3組で幸せでした!!ありがとうっ!

『3年間の思い出』

4組　美濃部　理紗子

私は泉北高校でたくさんの思い出ができました。

1年生の頃の思い出は文化祭で、皆でちびまる子ちゃんの劇をしたり、FOXYで踊ったりしてとても楽しかったです。

合唱コンクールは皆協力して優勝を目指しました。

2年生の頃の思い出は修学旅行です。大好きな韓国に行って皆で買い物したり、韓国料理を辛すぎる中、頑張って食べたり、へとへとになりながら山に登ったり、ホテルではしゃいだりして本当に最高の思い出です。

3年生になると受験で忙しい中、最後の文化祭が1番の思い出です。韓国料理屋はすごい人気でした!!FOXY最後のダンスは悪天候で2日目だけ踊れました。皆で最後に踊れてほんまにヨカッタです。後夜祭で後輩からサプライズで色紙をもらいました。本当に良い後輩で大好きです。

泉北でたくさんの友達と毎日過ごせてよかったです。

この3年間、自分自身成長したし良い思い出いっぱいできました!!

3年間の思い出

5組　森川　真一

三年間の高校生活で印象に残ることは全ての行事です。入学したての頃の右も左も分からない僕らに衝撃を与えてくれたのは、上級生の「盛り上がり」でした。行事でこんなにも盛り上がれるものなんだと思ったと同時に、『自分達もこれ以上に「はっちゃけたい」!』と思いました。そして最後の文化祭。どのクラスも素晴らしい出来だったと思います。その中で自分のクラスが一番だったと自信を持って言えます。

そして、このクラスの一員だったことを本当に嬉しく思います。尊敬出来る先輩。カワイイ後輩。共に部活に励んだ仲間。人として成長させていただいた顧問と先生方。三年間一緒に過ごした友達。泉北高校で出会えた人に本当に感謝しています。

これから先、この出会いと思い出を糧にして、何事も頑張っていこうと思います。

三年間の思い出

6組　枡谷　花乃子

私は三年間、片道一時間かけて泉北高校に通いました。なぜ、そんな遠いところから通い続けることができたかというと、とても良い仲間や先生方と出会うことができたからです。クラスでは共に勉強を教えあったり、いろいろなことで笑いあって、その瞬間を楽しみました。そして、クラブでは、皆で高め合い、上を目指しました。また、私たちが楽しい学校生活を送っている間は、先生方が必ず影でサポートして下さりました。休日にまで私たちに勉強を教えて下さったり、私たちのために一生懸命クラブでのメニューを考えて下さったりと、感謝しきれません。また、両親や祖母、書ききれないほど多くの人々に助けられ、本当にこの三年間の高校生活楽しかったです。

私は行事も勉強も全てのことにおいて全力で取り組む泉北四十二期生が大好きです。皆ありがとう。

みんな、ありがとう

7組　山田　奈々世

私はこの三年間で多くのことを学びました。日頃の授業では普段からこつこつと勉強することの大切さ、学校の行事では周りへ配慮しながら自分の意見を通すということ。こういったことを学ぶことができたということは、私の人生において本当に価値のある経験となりました。その中で、私はいかに周りの人に頼りながら生きているかということも気づかされました。さまざまな場面でお世話になった先生方や、楽しいときは一緒にその時間を共有し、悩んでいるときは相談に乗ってくれた友達は、私にとってかけがえのない存在となりました。この高校生活でできた友達はこれからの人生で私の大切な心の支えになると思います。私は泉北高校に来て良かったと心からそう思います。三年間本当にお世話になりました。みんなありがとう!

シンガポール高校生との交流

1年7組　中戸　優平

僕は、化学と数学の授業をシンガポールの高校生としました。化学の時は全く話す機会がなく終わってしまいましたが、数学では無茶苦茶な英語でも何とか話せました。動詞しかほとんど使っていなかったにもかかわらず、笑って話してくれたことはとても嬉しかったです。六十五分の交流はとてもわずかな時間でしたが、またこのような機会が来た時には日常会話並に英語が話せるよう、英語を勉強しようと思います。僕にとって良い経験が出来たと思います。

2年2組　益田　優希

十一月三十日、シンガポールの高校生がいらっしゃいました。私たちのクラスは異文化の授業で交流しました。グループに分かれ、一緒に協力して意見を考えました。お互いの考えを出しあっているとき、シンガポールの生徒さんはとても賢く、意見もしっかりしていると感じました。私はでも何とか話せました。授業も楽しむことができました。たった六十五分という短い時間だったけど、泉北高校のいい所を見つけて貰えていたり、今回の訪問がいい思い出になっていればいいなと思います。

マリンさん・リコくん送別会

2年1組　小西　奈緒

「マリンへ」

2年生になった初めてのクラスで私とマリンは前後の席で、第一印象は「パーピー人形みたい」でした。

初めの頃は私の英語もマリンの日本語もイマイチで話すことにお互い緊張していたよね。

でもだんだん理解し合えるくらいまで上達しました。リコくんに伝えたいことはたくさんあるけど今はありがとうしか思い浮かびません。

1年2組　平田沙也香

私達はとても楽しくて大切な時間をリコくんにもらいました。初めは戸惑うこともあったけど、だんだん慣れてきて、リコくんは二組の一員になりました。だからリコくんが帰ると知った時すごく寂しくなりました。いつか帰っていたけど、リコくんがいない毎日が想像できませんでした。

お別れ会の時、泣いている子も見ました。本当にお別れなんだと実感しました。リコくんに伝えたいことはたくさんあるけど今はありがとうしか思い浮かびません。

卒業生へのメッセージ

1組担任
荒木　恵子

卒業おめでとうございます。

皆さんは、成長の最も著しい青春の時期を泉北高校で過ごしました。毎日の授業と部活動、それに学校祭やクラスマッチ、合唱コンクールなどの多彩な行事がありました。友達との語らいを楽しみ、時には辛い思いや悔しい思いをしたこともあったでしょう。しかし、それらもすべて今の皆さんの成長を支えているものです。皆さんが一生懸命に取り組んだ姿勢は後輩たちに受け継がれ、また皆さんの心の中に宝物として残っていくことと思います。

泉北高校で経験したことを糧として未来に挑戦し、さらに成長していって下さい。また皆さんに会える日を楽しみにしています。

2組担任
吉光　晶

この三年間、授業とクラスで言い続けてきたことは三つでした、一つ目は、「笑顔であいさつしよう」でした。笑顔はタダです。心が落ち込んでいる時、笑顔に出会えたら、頑張れる気がしますよね。そんな素敵な笑顔をこれからも、あなたの周りにいる人に振りまいて下さい。二つ目は、「自分に厳しくあれ」でした。特に、時間を守る、約束を守ることを要求しました。進路実現のために必死でもがく経験をしてきた君たちなら、自分に対して厳しくあることの大切さを分かってくれると思います。最後の三つ目は、「気持ちの大切さ」です。幸せは、自分の心が決めるものであり、限界を決めてしまうのも残念ながら、自分の心なんです。困難も、必要あっての事と考え、単に「生きている」のではなく、「生かされている」ことに気づいて、感謝できれば、一瞬で幸せになれますよね。振り返ってみれば、あっという間の三年でしたが、君たちは色々な行事を経験し、確実に成長できました。そんな君たちの教師であれたこと、共に時間を過ごせたことを、心から誇りに思います。ありがとう。

3組担任
片山　歌子

42期生のみなさん、卒業おめでとうございます。この三年間、本当に“よく学びよく遊び”充実した時をすごしましたね。自分というものをしっかり持ちながら、他人への思いやりも持てる良き集団に成長してくれたことを心から嬉しく思います。

この時期になると、一期一会という言葉が胸に迫ります。いつまでも一緒にいたいけど、皆さんを笑って送り出さねばならない時がきました。これから、それぞれの道に分かれ、進んでいく中で順風満帆とばかりいかないときもあるでしょう。でも、挫折こそがその人を鍛え、人間としての成長をもたらしてくれるものです。そこで負けずに、冷静に、ものの見方を変えれば又、道は開けると思います。凛とした人になって下さい。遠くから祈っています。

4組担任
池ノ上　大輔

分からないことが分かった時の笑顔、必死に音読している時の、笑顔と本気が入り混じった表情、悩んで悩んで苦しんでいる顔、SOSを出している時の目、自分で解決しようと決心した時の強い目と涙、行事に必死に取り組んでいる時の真剣な眼差し、成績が下がり、悔しさの滲み出た口元と目、自分のした過ちを悔いて二度と繰り返すまいと心に誓った時の決意の目、眠くて眠くて、でも頑張って必死に見開いている目、「どうか私に当てないで」と懇願する目、夢を語り、目の前の私を通り越して未来を見据える目…。そんな目や声や表情が私の最高の宝物です。共に過ごした期間は、人生の中でほんの一瞬でしたが、君たちに出会えたことは奇跡でした。本当に幸せ者でした。教師はある程度期待値を持って生徒と接します。その数値を君たちはことごとく上回ってくれました。いつも感動し、感謝していました。教師であることの意義を毎日実感できた3年間でした。これから旅立つ君たちへ、一つだけメッセージを送ります。辛く苦しい時、それは見方が間違っている時です。Look beyond what you see! 見ようとすれば見えません。問題の向こう側を見てください。42期生大好きでした!ありがとう。

5組担任
和田　充弘

いよいよ高校生活も幕を閉じます。みんなにとって、どんな舞台だったでしょうか。

次のような歌詞があります。「自分の人生の中では誰もがみな主人公」（さだまさし「主人公」より）

僕は教員生活という舞台も、あと数年になりました。今までその舞台で主人公を演じて来られたか。生徒諸君の舞台でしっかり脇役を演じて来られたか。この歳になっても自信がありませんが、残る舞台を丁寧に演じていこうと思っています。

みんなは、これからもいろいろな舞台に立つことになります。そのとき、主人公としての自分を大切に演じるとともに、まわりの人たちにとっての主人公を支えるために、その舞台でもしっかり脇役も演じることを願っています。

卒業おめでとう。

6組担任
近山　誓子

気づくと入学式の初々しさは、凛と頼もしい表情に変わっていて、時の流れを感じます。そして、あっという間の3年間には、目に見えない形のないものこそ大切なものだと改めて皆から学ばせてもらいました。

相手を思いやる心、人を許す大きな心、親や友達を敬う心、出会いや優しさに感謝する心、一緒に笑い楽しみを共有する心、それらを42期生の皆は泉北高校での一つ一つの出来事から自分と向き合い、友達と分かち合い、大切に育て成長させ、表情を、心を豊かに頼もしくしていってくれました。それを側で感じ、担任として皆と過ごせたこと、心から幸せに思います。本当にありがとう。

泉北で満たした心の泉は、皆の希望や目標の芽を育て、強くし、自分色の大きな花を咲かす素となるでしょう。思いやりの泉のある人でいてください。皆の幸せを心より祈っています。

7組担任
川谷　徳彦

早春賦

春になって桜めぐりに出かけるのが趣味の一つですが、一番好きな季節は早春です。所々雪が残り風もまだ冷たいけれど、陽が射したりすると、何か心が暖かくなって前途洋々に思えてきます。

山陰の田舎で高校まで過ごした人間にとっては早春は希望が湧いて来る季節です。卒業とともに島根を離れ、一人暮らしを始め、これから始まる大学生活に胸が躍ったことを、今でも鮮明に憶えています。

あれから40年近く過ぎ、時代もすっかり変わりました。卒業していく君たちが希望の持てる社会を、我々大人が作れているのか。そのために力を合わせているのか。そのことを常に頭に入れて、残り数年の教師生活を過ごしたいと、そんなことを思いつつ『早春賦』の歌を口ずさんでいます。

春は名のみの、風の寒さや、谷の鶯…

みんな、羽ばたけ!

1年 校外研修

総合科学科　1年6組　砒塚　すずな

10月19日、1年総合科学科は北淡震災記念公園と人と防災未来センターに校外学習に行きました。両施設では阪神淡路大震災に関する資料や写真などがたくさん展示されていました。震災を経験していない私でも、その恐ろしさや被災者の方々の辛さがひしひしと伝わってきました。

これから私たちが経験するであろう大震災。同じような惨事を再び繰り返さないために、私たちは、震災から得られた経験や知識を正確に受け取り、後世にも伝えていかなければならないとこの研修で思いました。

国際文化科　1年4組　中西　美緒

私たち国際文化科はこの秋、校外学習で京都に行きました。高校生になって今回で二度目の大学見学でした。大学生は皆、充実した生活を送っているようで、私も彼らのように夢を抱き、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。その後の自由行動の時間に私たちのグループは南禅寺に行きました。昔からある建物なだけあって、外観がとても古風で周りの銀杏や紅葉が、より京都の風景を色鮮やかにしていて、美しかったです。この日は、自分の将来について考えたり、自然を楽しんだり素敵な一日となりました。

スピーチコンテスト

2年4組　田中　晴子

緊張に弱い私は、最初スピーチコンテストに出ると決まった時、本当に嫌で逃げ出したくなりました。しかし、練習を重ねる中で友達、家族など期待し、応援してくれている人が周りにたくさんいることが分かり、こんな弱気ではいけないと、そこから猛特訓に励みました。

優勝することができたのは多くの人の支えと応援のおかげです。本当にありがとうございました!今回のこの経験を、これからに生かしていきたいと思います。

SSH中間発表会

2年5組　村上　貴史

生物8班は、東北で塩害が問題になっていることを知り、この問題を解決したいと思い、このことを研究テーマにすることに決めました。中間発表会は、予備実験のデータが少なかったのでレジュメを作るのに手間取り発表の練習を満足にできないまま当日をむかえました。どのように説明しましたが、自分達が緊張しているのかわからず緊張しました。